

東海理化とアルプスアルパイン、 次世代 HMI 製品「静電ディスプレイパネル」を共同開発 ～より安全で快適な移動の実現に向けて共同開発を加速～

株式会社東海理化（代表取締役社長：二之タ 裕美、本社：愛知県丹羽郡大口町、以下「東海理化」）とアルプスアルパイン株式会社（代表取締役社長：栗山 年弘、本社：東京都大田区、以下「アルプスアルパイン」）は、カーナビゲーションシステムやヒーターコントロールスイッチなど各種提示情報の直感的な操作を可能とし、安全で快適な移動に貢献する次世代HMI製品「静電ディスプレイパネル」を共同開発しました。2024年の実用化を目指して開発、提案を進めます。



東海理化とアルプスアルパインは、CASE（Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric）や MaaS（Mobility as a Service）に伴い要求の高まる安心・快適な移動空間の提供に対応するため、2020年10月より、それぞれが持つ技術・製品力を活かした次世代HMI関連製品を中心とする製品開発に共同で取り組んでまいりました*1。

このたび共同開発した「静電ディスプレイパネル」は、ホバー&ジェスチャー操作を可能とした入出力ディスプレイと振動フィードバック技術を搭載したタッチ操作部から成る、表示・操作用の次世代HMI製品です。両社がタッチパッド等で培ってきた静電容量検出技術や振動による触感フィードバック技術などを活かすことで、直感的な操作性を実現。運転中でも安心・確実に使いやすく、ドライバーの画面注視を最小限に抑え、安心・安全な移動に貢献します。また、シンプルかつ高級感のあるデザインで、快適な車室内空間を演出します。

【本製品の主な特徴】

- ① 高感度な静電検出により分かりやすいアイコン表示（GUI※2）
一指を近づけるとディスプレイ内の操作したいアイコンが拡大し、確実な操作が可能
- ② 指の距離に応じた多階層入力
一拡大したアイコン（①操作）に、さらに指を近づけるとサブメニューが出現
- ③ アイコンを狙うことなく、簡単なジェスチャー操作（手払い）による、「戻る」や「HOME」画面へのショートカットが可能
- ④ 操作内容に応じた多彩な触覚フィードバックにより、より直感的な操作性を向上



東海理化およびアルプスアルパインは本製品の 2024 年の実用化に向けて、自動車メーカーへの提案を進めます。今後も、次世代 HMI 関連製品を中心とする製品開発等を共同で取り組み、より快適で安心な製品のさらなる開発を加速させていきます。

- ※1 2020 年 10 月 20 日「東海理化とアルプスアルパインが、HMI 領域の製品共同開発等を基本合意」
https://www.alpsalpine.com/j/news_release/2020/1020_01.html
- ※2 Graphical User Interface の略。ディスプレイ上の情報やその操作に関わる表示を画像やアイコンなどで視覚的に分かりやすく表現したもの

以上

<この件に関するお問い合わせ先>

株式会社東海理化
総務部 広報室
TEL 0587-95-5211

アルプスアルパイン株式会社
サステイナビリティ推進室 広報・IR 課
TEL 03-5499-8001 (広報直通)
e-mail alpsalpine-hp@alpsalpine.com